

柳澤健 （健）は詩人。明治二十一年十一月二百福島縣生れ、昭和二十八年五月二十九日歿（二六六—一九五）。大正四年東京帝國大學法科大學佛法科卒。渡信省、新聞記者を経て外務省人省、外交官生活のうちに評論家としての活動。在學中から詩作し、詩誌『未來』同人となる。五年白真歌之介、西條八十等と『詩人』を、八年小浜北村初雄、熊田精華等と『詩王』を創刊。十年詩話會創設に參劃。

譯著書、モークロー著『印象派の畫家』（譯、大正五年八月十八日向陵社『美術叢書』）、詩集『海港』（熊田精華北村初雄合著、大正七年十一月二十一日文武堂書店）、『日本象徵詩集』（合著・未來社同人編、大正八年五月二十日文苑）、『現代

の詩及詩人』（大正九年十月九日尙文堂）、『現代佛蘭西詩集』（譯、

大正十年一月二十日新潮社『泰西名詩選集』）、『柳澤健詩集』（大

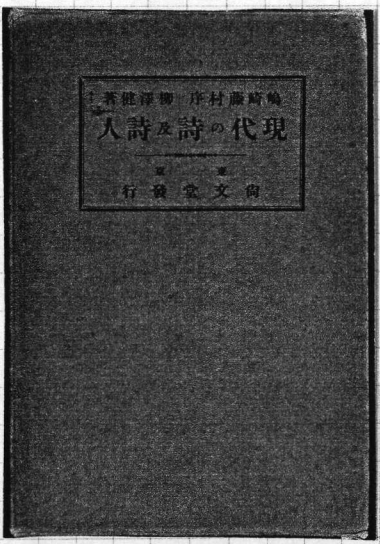
正十一年四月十日新潮社『現代詩選』）、『南歐遊記』（大正十三年六月十七日新潮社）、『ゆかり』

（合著・親佛文藝會編、大正十二年十一月二十五日改造社）、『現代詩人全集・第十』一卷 柳澤健集『富田碎花集』 富田碎花集（昭和五年六月十日新潮社）、『世界現狀大觀・VI—北歐詩國篇』（昭和七年四月十日新潮社）、『日本

發見』（昭和八年八月二十日日本評論社）、『異國趣味』（昭和九年

五月十一日日本評論社）、『隨筆集』『二鞭酒の泡』（昭和九年十一月十八日日本評論社）、『泰國と日本文化』（昭和十八年四月二十日小

書房）、『同窓の巴里』（昭和二十一年十月十五日龍燈社）、『顔』



(編) 一・^{秩父宮雅仁}同 勢津子 共述 『御殿場清話』 昭和二十二年二月十五日、
2・佐藤向武述 『ロシア』 七月十五日世界の日本社)、 『世界
の花束』 (昭和二十二年七月十五日コスモホリタ社)、 池田成彬著
『財界回顧』 (編) 昭和二十四年七月二十五日世界の日本社)、 『わ
れらの大皇』 (合著) 昭和二十六年二月一日われらの大皇刊行会普及
部。再刊。二十八年二月五日教育評論社) 等。